

授業科目名	老年期学	授業形態	講義	担当学期	2年（前期）
担当教員名	北岡 裕也	単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>老化の概念とその機序、加齢における生理的な変化と、高齢者に特徴的な症候と疾患を学ぶ。高齢者は多様な状態像を呈するため多面的に捉えることの必要性があり、リスク管理や評価・治療の応用へとつなげる。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>高齢者の老化により変化を考慮しながら、各疾患の特徴を理解した上でリスク管理や評価方法が列挙できる。また評価方法より得た情報より治療計画の素案を立案できる。</p>				
授業回数	授業内容				
第 1 回	老化、加齢に伴う変化（1～4章）：加齢に伴う変化（生理機能、運動機能、精神心理面）について				
第 2 回	高齢者の定義および人口動態（6章） 高齢者の機能評価（8章）：高齢者の総合機能評価など				
第 3 回	高齢者の機能評価（8章）：具体的な精神機能評価やADL評価について				
第 4 回	高齢者の栄養状態の評価と対策（9章） 高齢者に多い症候と老年症候群（12章）：高齢者の低栄養、栄養アセスメント、意識障害について				
第 5 回	高齢者に多い症候と老年症候群（12章）：尿失禁、フレイル、サルコペニアについて				
第 6 回	まとめ①、循環器疾患（13章）その1：高血圧、不整脈について				
第 7 回	循環器疾患（13章）その2：不整脈、虚血性心疾患について				
第 8 回	循環器疾患（13章）その3：弁膜症、心不全の重症度評価について				
第 9 回	呼吸器疾患（14章）その1：肺炎、誤嚥性肺炎、肺癌について				
第 10 回	呼吸器疾患（14章）その2：慢性閉塞性肺疾患（COPD）について				
第 11 回	消化器疾患（15章） 内分泌疾患（18章）：胃癌、大腸癌、糖尿病など				
第 12 回	神経疾患（16章）：心原性脳塞栓、多発性ラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞など				
第 13 回	認知症と精神疾患（17章）：認知症とは何か、治療可能な認知症と4大認知症の症状や特徴について				
第 14 回	骨粗鬆症と運動器疾患（22章）：骨折、変形性膝関節症、腰部脊柱管狭窄症など				
第 15 回	まとめ②				
評価方法	筆記試験（100%）				
教科書 参考図書	〔教科書〕 標準理学療法・作業療法 老年学 第5版（医学書院）				
履修上の 留意点	特になし				
メッセージ	高齢者が様々な疾患を抱えていることを理解し、評価・アプローチにつなげてください。				